

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和4年3月20日 第150号

## シウマイ像を見てきました

JR鹿沼駅前でシウマイ像お披露目されたという話がちょいちょい耳に入ってきたので、さっそく見に行ってきました。駅前の無料駐車場の横にそれはありました。想像よりも遥かに大きく、迫力があります。ただ、これのどこがシウマイ像なのかという疑問は生じます。

実は下調べをして、シウマイをかたどったものではないことは知っていたのですが、このデザインになったことの解説のプレートを読んでも、全く理解できません。芸術は難しいですね。



中央の亀裂が肝だそうです。

つい最近オープンしたと思いき小綺麗なお店が駅前にありましたので、蒸しシウマイを購入。ふっくらとして美味しかったです。

これまではランチのおまけや、飲茶の1メニューとしてのイメージしかありませんでしたが、じっくり食べてみれば確かにうまい。半ば強引なシウマイでの町おこしもありだと思います。

横浜の崎陽軒との関りから「シウマイの街」としたとのこと。中学高校と毎日横浜駅で乗り換えしていた私としても、見過ごすことはできませんでした。とりあえず町おこしで設定しただけのようで、シウマイを扱っているお店がたくさんあるというわけではまだまだないようです。市の思惑通り浸透するかは、今後に期待しましょう。



容器がとにかくおしゃれ。

我が家の畑  
寒い寒いと思っ  
たのに、くしゃみ鼻水が  
出るようになってきたら、一  
気に春めいてきました。  
春ダイコンと小松菜  
の種を蒔き、長ネギの苗  
を植え、ジャガイモの種  
芋を植え付けました。  
「ジャガイモの植え  
付けは、桜の咲く頃に行  
う」と初心者向けの入門  
書には書いてあったり  
するのですが、今年は極  
端に種芋が品薄で、のん  
びりとはしていられたま  
せんでした。行きつけの  
カンセキでは三月上旬  
に売り切れ、みりでも  
メーカーイン以外は売り  
切れていました。  
例年もさすがに桜が  
咲いてからでは遅いの  
ですが、それでもこんな  
に早い時期に種芋が無  
くなるのは驚きです。  
ネットで検索すると、  
一月の段階ですでに品  
切れで騒ぎになってい  
たようです。皆さん随分  
と早くから準備してい  
たのですね。感心しまし  
た。

## 子供の学級閉鎖などにより勤務できない場合の助成金手続きが改善されました

新型コロナウイルスの第6波の影響で、多くの小学校や保育園で臨時休校・休園が発生し、働く保護者は子どもの世話をするため仕事を休まざるを得ない状況になりました。厚生労働省は、このような保護者に対して活用できる小学校休業等対応助成金の対象となる休暇期間を6月末まで延長し、個人の申請手続きを改善することを公表しました。

小学校休業等対応助成金とは、小学校等の臨時休校等により仕事を休まざるを得ない保護者に対して、通常の有給休暇とは別に有給休暇を取得させた事業主に賃金(緊急事態宣言まん延防止等重点措置の実施区域の場合、日額最大 15,000 円)が支給される助成金です。

基本的に会社が申請するものですが、本人申請も可能でした。



しかし昨年の感染拡大時には、従業員が事業主に助成金利用のことを言い出しにくかったり、労働局に直接申請をしても後日労働局から勤め先に確認し同意が得られなければ支給されなかったりしたため、活用が進みませんでした。

このような状況から、本助成金の個人申請の手続きが改善され、労働局の「小学校休業等対応助成金に関する特別相談窓口」で労働者からの相談内容に応じて、事業主に助成金活用の働きかけを行うと共に、事業主に休業させたことの確認が得られていない場合でも、まずは申請を受け付けることになりました。

本助成金のうたい文句は、「事業主負担はありません」となっていますが、対象期間の各種社会保険料の会社負担は発生し続けますので実情は異なります。また支給上限が1日あたり9,000円(各種宣言対象地域は15,000円)と高額ではないため、正社員であれば上限に達してしまい会社負担が生じるなど、まだまだ利用しにくい制度であると言えます。